



令和元年6月26日

報道関係各位

岩手県立大学企画室

国連アカデミック・インパクトへの加盟について

岩手県立大学（4学部、盛岡及び宮古の各短期大学部）は、国連アカデミック・インパクトに加盟しましたのでお知らせします。東北の大学では、東北大学に続いて2校目となります。

記

1 国連アカデミック・インパクトの概要

- ・ 国連アカデミック・インパクトは、平成22年11月18日に発足し、大学の社会貢献のため、国連と世界各国の高等教育機関の活動を連携させるプログラム（令和元年6月現在で130か国以上の1,300以上の機関、うち国内69機関が参加）。
- ・ 参加機関は、国連アカデミック・インパクトの10原則のうち少なくとも一つにコミットし、1年に少なくとも一度、原則に関連した活動を行うことが求められる。

2 加盟日

令和元年5月24日（東北の大学では、東北大学に続いて2校目）

3 岩手県立大学（4学部、盛岡及び宮古の各短期大学部）がコミットする原則

原則6：人々の国際市民としての意識を高める

原則8：貧困問題に取り組む

原則9：持続可能性を推進する

原則10：異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く

4 期待される効果

- ・ 岩手県立大学におけるグローバル人材の育成、大学力強化
- ・ 持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動による、「いわて県民計画（2019～2028）」における「新しい時代を切り開くプロジェクト」等を通じた地域への貢献。

5 今後の取組等

- ・ 「国連アカデミック・インパクトJapan」ホームページ及び本学ホームページにおける情報発信
- ・ 本学の研究等のアクティビティの英語による情報発信を通じた海外との連携

【問合せ先】岩手県立大学 企画室 金戸 TEL 019-694-2005

“国連アカデミック・インパクトへの加盟に当たって”

鈴木厚人学長コメント

このたび、国連と世界各国の高等教育機関の活動を連携させることを目的としたプログラムである国連アカデミック・インパクトに加盟しました。

国連アカデミック・インパクトに加盟する高等教育機関は、10の基本原則のうち、一つ以上に取り組むことが要請されます。本学は原則6：国際市民としての意識向上、原則8：貧困問題への取組、原則9：持続可能性（SDGs）の推進、原則10：異文化間の対話や相互理解の促進の4つの基本原則に主に関与します。

これまで本学は社会の中の大学として、実学・実践重視の教育・研究を大学の基本的方針の一つに掲げて、地域社会・国際社会に貢献してきました。これからは、国連アカデミック・インパクトの活動を通じて、グローバル社会における各地域や国、世界での大学の社会的責任の役割を追求していきます。



The United Nations

welcomes

Iwate Prefectural University, Japan

*as a member of the United Nations Academic Impact
and values its commitment to the following ten principles:*

- Commitment to the United Nations Charter
- Human Rights
- Educational opportunity for all
- Higher Education opportunity for every interested individual
- Capacity-building in higher education systems
- Global citizenship
- Peace and conflict resolution
- Addressing poverty
- Sustainability
- The "unlearning" of intolerance

Ramu Damodaran

Chief, United Nations Academic Impact
Department of Public Information
United Nations

国連アカデミック・インパクト (United Nations Academic Impact) について

1 国連アカデミック・インパクトの概要

2010年（平成22年）11月18日発足。国連と世界各国の高等教育機関の活動を連携させることを目的としたプログラムであり、国際連合広報局が中心となってネットワーク作りを進めている。

日本では、「国連アカデミック・インパクトJapan」として活動しており、令和元年6月現在で130か国以上の1,300以上の機関（うち国内は69機関）が参加している。

参加機関は、国連アカデミック・インパクトの10原則のうち少なくとも一つにコミットし、1年に少なくとも一度、原則に関連した活動を行うことが求められる。



2 国連アカデミック・インパクトの10原則

原則1：国連憲章の原則を推進し、実現する

原則2：探求、意見、演説の自由を認める

原則3：性別、人種、宗教、民族を問わず、全ての人に教育の機会を提供する

原則4：高等教育に必要とされるスキル、知識を習得する機会を全ての人に提供する

原則5：世界各国の高等教育制度において、能力を育成する

原則6：人々の国際市民としての意識を高める

原則7：平和、紛争解決を促す

原則8：貧困問題に取り組む

原則9：持続可能性を推進する

原則10：異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く

3 参加機関（参加順）

国立大学 (16大学)	九州大学、愛媛大学、東北大学、埼玉大学、東京外国語大学、大阪大学、東京大学、京都大学大学院総合生存学館（思修館）、長岡技術科学大学、京都教育大学、岡山大学、豊橋技術科学大学、広島大学、三重大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学
公立大学 (7大学)	神戸市外国語大学、群馬県立女子大学、山口県立大学、大阪市立大学、大阪府立大学、滋賀県立大学、 岩手県立大学
私立大学 (44大学)	明治大学、早稲田大学、中央大学、大阪商業大学、関西学院大学、桜美林大学、事業創造大学院大学、文教大学、南山大学、立教大学、国際大学、秀明大学、麗澤大学、龍谷大学短期大学部、津田塾大学、法政大学、活水女子大学、鶴見大学、摂南大学、上智大学、杏林大学、慶応義塾大学、創価大学、関西医科大学、明治学院大学、千葉商科大学、松蔭大学、通信制大学 星槎大学、立命館大学、青山学院大学、国際基督教大学、武蔵大学、武蔵野大学、関西大学、星槎道都大学、獨協大学、大阪電気通信大学、近畿大学、関西福祉科学大学、大阪工業大学、大阪学院大学、京都外国語大学、追手門学院大学、羽衣国際大学
その他 (2機関)	特定非営利活動法人言論NPO、一般社団法人大学コンソーシアム沖縄（琉球大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄大学、沖縄女子短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、名桜大学、沖縄県立看護大学、沖縄工業高等専門学校、沖縄科学技術大学院大学)